



<http://www.wakayama-kodomo.com>

(パソコンサイト)

<http://www.wakayama-kodomo.com/i/>

(携帯電話サイト)



梅雨の時期になりますが、晴れた日は日差しが強く感じられます。今の時期から日焼け対策を万全にしておきましょう。また、食中毒などの病気も発生しやすくなります。うがい・手洗いを徹底し、予防につとめましょう。



院長のお話

★薬はきちんと飲めていますか？

薬が病気に効くためには、血液中の薬の濃度が一定以上にならないと効果がありません。ですから、決められた用法・回数を守らないと効き目が無いわけです。

一度薬を処方して、処方した日数が過ぎても「まだ薬があります」と答えられることがあります。よく聞いてみると「保育園で飲ませてもらえないので、1日3回飲むところを朝と夜の1日2回しか飲ませてませんでした」と言います。

薬をちゃんと飲んでいるという前提で治療をしていますので、治療効果がなければ薬剤を変更したり、内服ではなく点滴をしたりと治療を変更することがあります。しかし、もしもちゃんと薬を飲んでいれば、薬剤を変更したり、治療を変更する必要はないのかもしれませんが。

飲み忘れる事もあるでしょう、しかし、規定通り飲めていない場合は治療を行う上で貴重な情報になりますので、必ずお知らせください。

保育園や学校に行っていて昼に薬が飲めない場合は、昼の分は帰宅後内服して、夜の分は寝る前に内服しても大丈夫です。また、吐くなど薬を飲むことが難しい場合は、咳止めや抗生剤の坐薬、貼り薬などに換えられる場合もあります。ご相談ください。

薬の飲み合わせも確認が必要です。当院以外で処方されたお薬を内服されている場合は、必ず受付時にお知らせください。また『お薬手帳』や処方内容のわかる用紙をご持参下さい。

★梅雨は喘息が悪化します！

喘息(ぜんそく)とは正式には「気管支喘息」といいます。「喘息の発作」とは空気の通り道である気管支がむくみ、さらに痰が出て気管を細くし、空気の通りが悪くなり息苦しくなる症状をいいます。

(吸う時より息をはく時の方が苦しいのが特徴)

喘息の持病のある方は、梅雨や台風の時期に発作が出やすくなります。今は時期的に落ち着いている方が多いですが、定期的にお薬を飲んでいる方や吸入をしている方は、お薬が切れないうつ続けて飲んで、治療をきちんと続けておきましょう。

また、調子が良く内服を中止している方も、咳やゼイゼイ、ヒューヒューが出始めたら、早めに受診し治療を開始しましょう。

喘息の治療は「出た発作を抑えるのではなく、発作が起きないように、日頃からコントロールしていくことが大切」です。一度発作が起きると、良くなりかけていた気管支の粘膜がタダれてしまい、改善するまでに時間がかかります。早い時期に改善できるよう、定期的な受診し、内服を続けたほうが良いか、中断したままで良いかなどご相談ください。

また、ダニやほこり(ハウスダスト)、動物(ペット)、タバコのけむり、かびなどは喘息の発作を引き起こし悪化させる要因です。ご家庭では発作を防ぐために環境整備に努めましょう。

各ご家庭での具体的な対策についてのご相談に応じていますので、スタッフまでお気軽にお申し出ください。



「うさぎくらぶ」への登録はお済みですか？

現在メールアドレスを登録していただいた方へ、『うさぎくらぶ通信』にて当院のスケジュール(診療時間の変更や臨時診療、当番医など)流行中の病気や予防接種のお知らせなどをお送りしています。まだうさぎくらぶへ登録がお済みでない方は、是非ご登録をお願いします!!(今ご登録をいただいた方へお土産を準備しています!!)

また、登録がうまくいかない場合(携帯電話の機種によって)などは受付までお申し出ください。



登録方法



○ホームページ「うさぎくらぶ」のページから(パソコンサイト)

<http://www.wakayama-kodomo.com>

(携帯電話サイト)

<http://www.wakayama-kodomo.com/i/>

※ご登録内容に変更がありましたら、ホームページの『ご意見箱』もしくは、

info@wakayama-kodomo.com まで。